

# 副団長に宮坂建設工業社長

【帯広】帯広市消防本部は3月31日、同署内で帯広市消防団員の辞令交付式を開き、宮坂建設工業（本社・帯広）の宮坂寿文社長を副団長に任命した。同社は、初代社長の宮坂寿美雄氏をはじめ歴代社長が団長を務めるなど、団設立から60年以上にわたる活動に協力し

## 帯広市消防団

朝日団長（右）から辞令を受け取る宮坂社長



ている。宮坂社長は「建設業と両面で地域の役に」となり、災害予防活動や

「立ちたい」と意気込みを述べた。

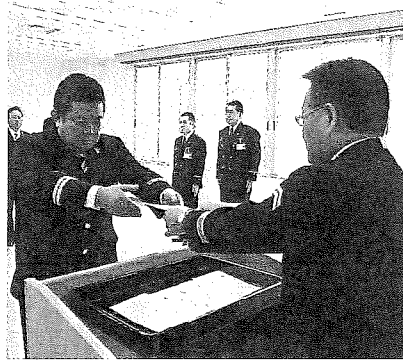
消防団は、それぞれ本業を持つ地域住民が団員となり、災害予防活動や

## 地域防災へ一層貢献

消防活動に従事する。帯広市消防団は13分団で構成し、団員数は合わせて約350人になる。1日付で副団長を1人増員し3人体制にすることなり、分団長の会議を経て、地元町内会を交えた防災訓練などに取り組む地域防災に貢献している同社の宮坂社長が選ばれた。交付式では、朝日正行団長が宮坂社長や、異動・昇任した分団長らに辞令を手渡し、「仕事との両立は難しいが、地域の安全に寄与してほしい」と呼び掛けた。

# 帯広市消防団の副団長に

## 宮坂建設工業の宮坂寿文社長 地域の安全確保へ決意新た



【帯広】宮坂建設工業（帯広）の宮坂寿文社長が、一日付で帯広市消防団の副団長に就任した。三月三十一日、帯広市消防本部庁舎で消防団員任命および辞令交付式が執り行われ、朝日正行団長から辞令書が手渡された。

帯広市消防団は、各地域の十二分団と女性分団の計十三分団で構成。現在、約

命・身体・財産を守るため日々、活躍している。三月三十一日、帯広市消防本部の幹部らが見守る中、消防団員任命および辞令交付式が執り行われた。朝日団長が一人ひとりに辞令書を授与した。朝日団長は「帯広市民の安全のため消防活動を行っていただきたい」と協力を要請した。宮坂社長は「父親も消防

三百五十人の団員が所属している。普段は一人ひとりがそれぞれの仕事をもちながら、「自分たちの地域は自分たちの手で守る」という郷土愛護の精神のもと、市民の生

団長で、仕事でも地域防災に力を入れている。今回選出されたことは大変名誉に思っている。地域のリーダーとして、お役に立てれば」と述べた。なお、宮坂建設工業では、宮坂社長の父親である文一氏、祖父である寿美雄氏など歴代の社長経験者が団長を務めている。